

東野真美さん

第一三共株式会社経営戦略本部経営推進部



#彦根南中出身 #帰宅部 #大阪 #メキシコ
#東京 #セネガル #元やさぐれ高校生 #とりあえず
やってみる #小心者 #人生いつでも今が一番

東野真美さんは自身の高校時代を「テストが多いこともあり、学校が好きではなかった。そのため家を出て公園やカラオケに行き、学校にあまり行かなかった」と振り返られ、加えて突破口となった経験を「高校2年生のときにカナダで短期留学をした。そこで外国にはこんなに楽しい世界があるのだと気づき、外国

語を学びたいという目標を見つけた」と明かされた。大学進学後は就職され、会社人3年目に以前から参加したいと考えていた青年海外協力隊の一員としてセネガルに行かれたという。活動について東野さんは「私は民芸品を作って生計を立てる職人さんの所得を上げる目的が割り当てられていた。最初は言語が

通じないことで会話が成り立たなかったがジェスチャーを踏まえることで泣きながらケンカするまでに意思を伝えることができた」と説明された。加えて現地で困ったことを「イスラム圏のセネガルではみんな時計ではなくお祈りの時間を基準にしている。集合時間に3時間遅刻されることもあったが文化の違いは慣れるしかない」と実感した」と挙げられた。

総合教養講座 参加者紹介②

北川雄士さんはまず学生時代の話をされた。北川さんは大学の就職活動で大きな壁にぶつかったという。北川さんは「就職活動のとき、自分にやりたいことがないと気付いた。結局やりたいことは見つからず、手当たり次第に就職活動を始めた。最初に就職したのはテレビCMの会社だった。そこでの仕事は楽しく、何をしても一生懸命にすれば楽しくなる」と打ちを学んだ」と打ち

明けられた。また北川さんは子どもが生まれたとき、価値観が変わったという。北川さんは「子どもはいわゆる超未熟児で障がいが残るかもしれないと言われた。今は元氣だが、体も小さくて動作も遅い。だがそんな自分を受け入れており、そこに心の強さを感じる。受け入れることの大切さに気付かされた」と明かされた。北川さんは自分の人生を振り返って「やりたいことがなくても、とにかく目の前にあることをやってみることが大切だ。今の自分を受け入れ、感謝することを忘れないでほしい」と締めくくられた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

1月25日に本校2年生を対象とした総合教養講座が開催され、計20名の本校OBが登壇された。この面では東野さんと北川さんを紹介する。



株式会社いるあわせ 代表取締役
北川雄士さん

#鳥居本中出身 #ハンドボール部 #兵庫 #東京
#兵庫 #滋賀 #マリオのCMつくってた #嫌いな
人がいない #カレーは辛いのが好き #イギリス
#和して同ぜず